

ULVAC

【証券コード：6728】

第119回 定時株主総会

2023年9月28日
株式会社 アルバック

議事運営についての お願い

監査報告書

- 会計監査人の監査報告
(連結計算書類・計算書類)
- 監査役会の監査報告

第119期事業報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

1. 企業集団の現況

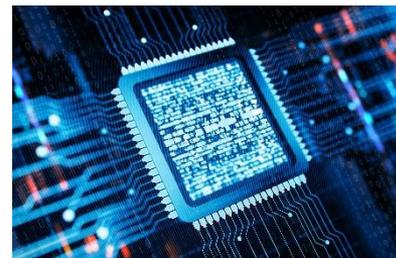
(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果 ～世界経済の状況～

- 穏やかな回復基調で推移
- 地政学リスクの高まり等に伴う各種材料や部品の価格上昇やサプライチェーンの混乱、そして世界的な金融引き締めに伴う景気後退懸念の高まり等から、その先行きに対する不透明感が高まった

■ 半導体業界

- スマートフォンやパソコン等の需要減速に伴う短期的な半導体メーカーの設備投資の鈍化
- 中長期的には、生成AIへの期待等も相俟った半導体需要拡大が見込まれるとともに、地政学リスク対応等の観点からの世界各地での半導体工場新增設計画も進められる



■ エレクトロニクス業界

- グリーンエネルギー政策等に基づくEV導入促進政策の進展等に伴ったパワーデバイス投資、スマート社会化構想等に基づくデジタル化の促進やメタバースの実現等に向けた各種電子デバイスの技術革新や増産のための投資、中国におけるエレクトロニクス国産化政策に基づく投資等が継続的に拡大



■ フラットパネルディスプレイ業界

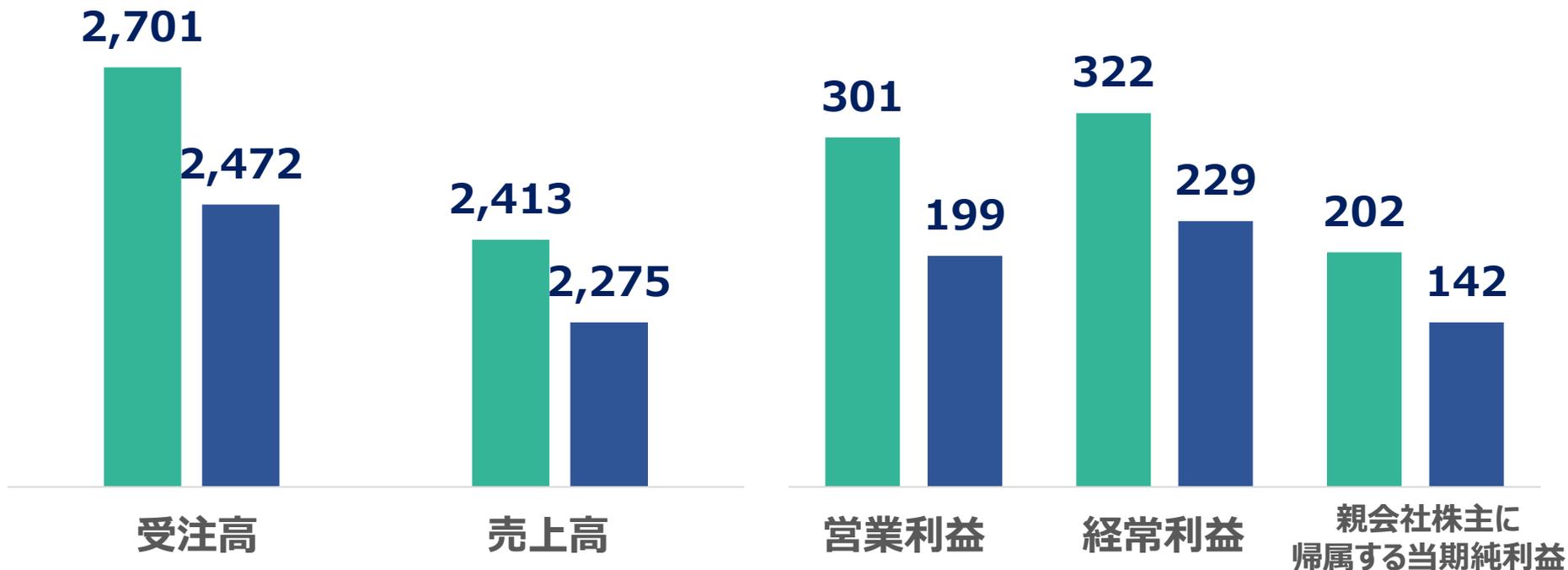
- タブレットやパソコン用のITパネルが液晶から有機ELへの転換期にあり、大型基板の有機EL投資が今後増加
- 産業用電池業界においても、EVバッテリーの小型大容量化や安全性向上の実現に向けた量産投資が本格化



①事業の経過及び成果 ～第119期業績（連結）～

【単位：億円】

■ 118期 ■ 119期



個別の事業の状況

(4) 対処すべき課題

経営基本理念

**アルバックグループは互いに協力・連携し、
真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、
産業と科学の発展に貢献することを目指す**

(4) 対処すべき課題 ～サステナビリティ方針～

サステナビリティ方針

「真空技術及びその周辺技術の総合利用により、経済価値、社会価値、環境価値を創造する」

- 環境負荷の低減や健康と幸せの創造により適正な利潤を追求
- 気候危機や資源不足など地球の持続可能性を脅かす環境問題の解決に向けての取組みも推進



(4) 対処すべき課題 ～マテリアリティ～

Vision 2032

未来につながる「可能性の場」であり続ける

マテリアリティ

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

中期経営計画 「Breakthrough 2022」

【対象期間】 2021年6月期～2023年6月期

【結果】

- 成長領域である半導体及び電子部品事業における投資拡大によって、売上高については当初計画値を上回った
- 市場環境の急激な悪化や地政学的要因等によるサプライチェーンの混乱等を原因とする調達部品の長納期化等により、利益率の面においては当初計画が未達

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

< 基本方針 >

真空技術による社会的価値創造

利益・資本効率重視の経営

重点戦略	ポイント
① 成長事業における製品競争力の強化	<ul style="list-style-type: none">> 共創によるイノベーションの推進> 半導体・電子装置事業の拡大> カスタマーサービス事業の強化
② グローバル生産性の向上	<ul style="list-style-type: none">> モノづくり力強化> デジタル化の推進
③ 経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none">> ESG経営の強化> 財務基盤の強化・CFマネジメントの強化> 人財経営の推進

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

① 共創によるイノベーションの推進

- 各分野における世界のリーディング企業、大学等との最先端技術の共同開発を推進
- 技術革新に対応した製品開発力を強化
- グローバル開発体制の強化

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

② 半導体及び電子部品事業の拡大

<半導体>

- 先端ロジックの実績をもとに、メモリー及びレガシー半導体分野でも更なる拡販活動を強化

<電子部品>

- 主要5分野（パワーデバイス、オプトデバイス、通信デバイス、電子部品、実装）で更なる拡販活動を強化

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

③ カスタマーサービス事業の強化

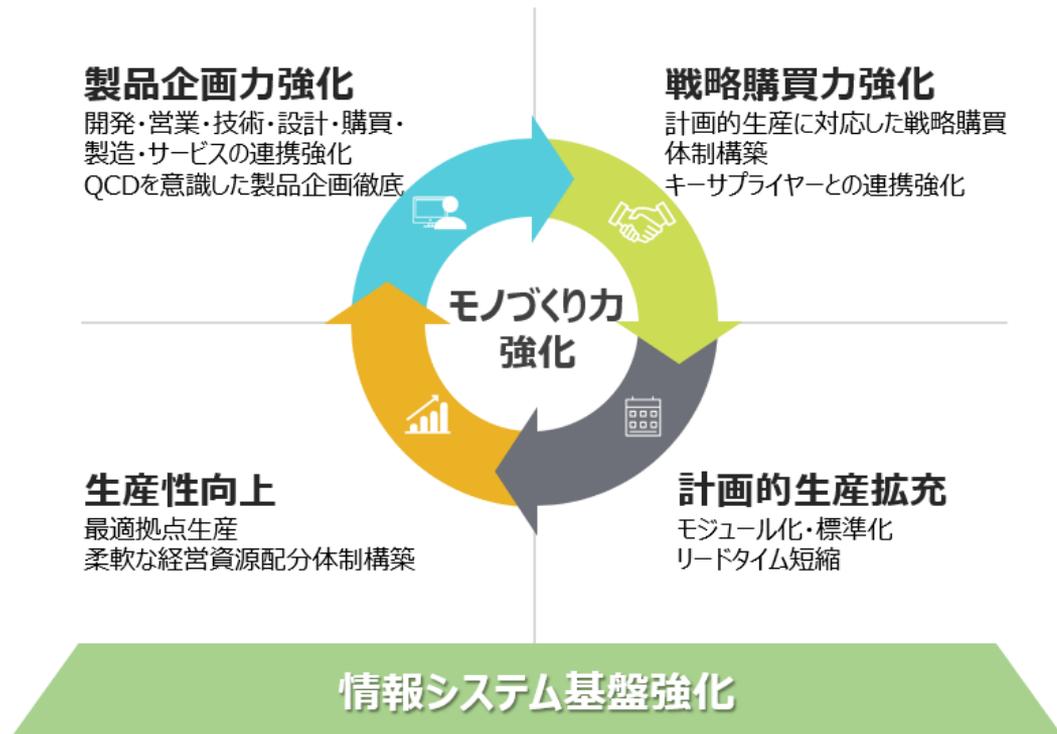


- 製品ライフサイクル全体をカバーすることを当社グループにおけるビジネス機会と捉える
- 特に注力すべき地域におけるサポート体制の強化や当社グループから顧客に対する提案型での既存装置の改良や改善といったビジネスの推進を目指す

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

2. グローバル生産性の向上

① モノづくり力強化 ② デジタル化の推進



(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

① ESG経営の強化

- CO2排出の削減、気候危機等の社会的課題の解決に貢献する環境配慮型製品の更なる開発と拡販
- 人権に配慮した事業運営についての理解の共有、労働環境をはじめとする人権尊重の推進の更なる実現
- 実効性、透明性の高い経営体制の強化に最適な見直しに継続的に取り組むことにより、コーポレートガバナンス体制の更なる維持強化

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

② 財務基盤の強化・CFマネジメントの強化

- 当社グループの更なる成長に向けた十分な開発投資資金を確保し、当社事業をとりまく外部環境変化への迅速な対応を実現する強固な財務基盤の構築
- キャッシュ・フローマネジメントの更なる強化

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

③ 人財経営の推進

- 多様な人財が活躍できる環境を整備
- 従業員エンゲージメントを高めるとともに、次世代リーダーとなる中核人財の育成プログラムを再構築

(4) 対処すべき課題 ～新中期経営計画～

2026/6期 目標	
売上高	3,000億円
売上総利益率	35%
営業利益率	16%
ROE	14%
営業CF (3年間累計)	630億円

**株主の皆様におかれましては、
より一層のご理解とご支援を賜りたく
お願い申し上げます。**

議案の上程

<決議事項>

第1号議案 剰余金の処分の件

招集ご通知6ページ

■ 期末配当

1株につき金**109**円といたしたく存じます。

<決議事項>

第2号議案 取締役6名選任の件 [取締役候補者]

招集ご通知7~14ページ

いわした

岩下

ペック

白

せつ お

節生

チュン リョル

忠烈

にし

西

うちだ

内田

いしだ

石田

なかじま

中島

ひろ ゆき

啓介

のり お

憲男

こう ぞう

耕三

よし み

好美

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

<決議事項>

第3号議案 監査役2名選任の件 [監査役候補者]

招集ご通知15~17ページ

もり じり ゆう じ

森尻 裕二

新任

ほん だ そう や

本田 宗哉

新任

<決議事項>

第4号議案 補欠監査役1名選任の件 [補欠監査役候補者]

招集ご通知18~19ページ

の なか たか お

野中 孝男

補欠社外監査役

独立役員

報告事項、決議事項の 質疑応答

「一問一答方式」
でお願いいたします

決議事項の議案の採決

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役6名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

決議事項の議案の採決

第1号議案 剰余金の処分の件

招集ご通知6ページ

■ 期末配当

1株につき金**109**円といたしたく存じます。

決議事項の議案の採決

第2号議案 取締役6名選任の件 [取締役候補者]

招集ご通知7~14ページ

いわした せつ お
岩下 節生

ペック チュン リョル
白 忠烈

にし ひろ ゆき
西 啓介

うち だ のり お
内田 憲男

いし だ こう ぞう
石田 耕三

なか じま よし み
中島 好美

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

決議事項の議案の採決

第3号議案 監査役2名選任の件 [監査役候補者]

招集ご通知15~17ページ

もり じり ゆう じ

森尻 裕二

新任

ほん だ そう や

本田 宗哉

新任

決議事項の議案の採決

第4号議案 補欠監査役1名選任の件 [補欠監査役候補者]

招集ご通知18~19ページ

の なか たか お
野中 孝男

補欠社外監査役

独立役員

本日は、誠に ありがとうございました。

将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。